



つながり

令和8年9月1日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456



二次元コードから
閲覧可能です。

そ~だったのか 地域連携教育！ 魅力的だな！！



文部科学省は、中央教育審議会の答申(2022/12/19)で、「新たな教師の学びの姿」について、次のように述べています。

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- 求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- 新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」



現職の小中学校の教職員が 本気で取り組んだ 岩国市夏季研修講座 地域連携教育研修会

講義



地域と学校をつなぎ、生徒の教育活動をより充実したものにしていきたい。また、学校の困り感だけではなく、地域の困っていることや要望も学校と一緒に解決していける土壌を作りたい。



自分が思っていたよりも、地域の方の力を借りることができる場面はたくさんあると感じた。様々な活動を仕組む中で、地域の方の力を借りられないかな？ という視点を持ちたいと思った。



グループ協議

情報交換をした際に、小学校では、地域の方が助けてくれる場面が多くて、中学校では、地域の方を助けてあげる(ボランティアをする)場面が多く、小中のつながりを感じた。



地域の方と一緒に学校教育を行っていることを意識していきたい。いろんな面で支えていただいていることが当たり前ではないことを常に胸に留めて、学校教育を盛り上げていきたい。



研修の振り返り

指導者を交えて 自由討議



地域との連携の仕方は、学校ごとにそれぞれ特色があると強く感じた。他の学校の取組みを持ち帰り、できることは、自分の学校の形に変えて実践の方向に進めていきたいと思った。



まずは、学校と地域での様々な取組に対し、当事者意識をもって関わりたい。地域の方と顔見知りになり、関係を築くことで多角的・多面的に学校をとらえるきっかけにしていきたい。今後も、地域連携教育を進める中で、地域の方との関わりに感謝の心を忘れないようにしたい。



主に教職経験1~3年目を対象に、3時間にわたって研修を行いました。事後の振り返りでは「とても楽しく、あっという間に研修が終わりました」「話し合い活動など、能動的な場面が多く、充実した時間でした」など主体的に学べたことへの喜びが書かれていました。自分の思いや考えをしっかりと伝える姿、うなずきながら他の学校の実践を聞く姿、一緒に真剣に課題を考える姿……これからの教育を担う教職員の頼もしい姿がたくさんありました。

